

平成 29 年度

学習支援に携わっている大学生のためのレベルアップ研修会レポート

<http://sapporo-youth.jp/network/>

不登校児童生徒への心理学的アプローチ

2017.4.26

講師 平野 直己さん(北海道教育大学准教授・臨床心理士)



レポート

～問題を解決しようとせず、ただ聴くことも大切～

生活困窮世帯の子どもたちへの学習支援を行っている大学生ボランティアが「心理学の観点から不登校をどう捉えるか」を学びました。講師の平野先生の豊富な実践経験と例え話を用いた分かりやすい話に、参加した 20 名超の大学生たちは皆さん熱心にメモをとっていました。

ふとした拍子に中学生たちが家や学校の悩み事を話してくれたとき、どうリアクションすれば良いのか、ボランティアの立場で果たしてどこまで深入りして良いものか。学習サポーターを経験した大学生なら誰でも一度は迷ったことがあるのではないのでしょうか。年齢が近くて親しみやすい大学生だからこそ中学生が安心して心を開いてくれる一方で、「何とかしてあげたい」と思えば思うほど心の距離は離れていったり・・・というジレンマを心理学の視点から解説をしていただきました。

講義のあとは平野先生を交えて活発な意見交換が行われました。参加された大学生の皆さんにとって、今後の学習サポートに活かせるヒントがたくさん見つかったのではないのでしょうか。

(文責：札幌市若者支援総合センター 松田考 松本沙耶香)

主催 札幌市若者支援総合センター[指定管理者：公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会]